

高校生まちづくりスクール プレゼンテーション

11月10日、「きくがわ高校生まちづくりスクール最終報告会」が開催され、高校生15人がプレゼンテーションを行いました。見学者には市民をはじめ53人が参加しました。

プレゼンテーションでは全7チームが「若者の農業人口増加」「地域での多世代交流」「商店街の活性化」「読書で養う豊かなコミュニケーション能力」「公園の活性化」「外国人と日本人の結びつきが強い菊川市」「来たくなるようなまち・居たいと思えるまち」をテーマに、半年かけて企画・実践した活動内容を報告。実際に行った関係者への取材やNPOでのインターシップ、自主開催したイベント、さらに今後取り組みたいプランや菊川への想いなどを話すと、見学者は熱心に聞き入りました。

参加した高校生からは「共感してくれる人が多くいた」「今まで知らなかった菊川市の魅力に気づいた」「今回の経験を活かし、これからも続けて菊川市のまちづくりに携わっていきたい」、見学者からは「高校生が地域に取り組む意欲に感銘を受けた」などの感想が聞かれました。



プラザきくる周辺 賑わい創出



みんなのアソビバ&小さな収穫祭

11月3日、常葉大菊川高校と小笠高校のコラボイベント「みんなのアソビバ&小さな収穫祭」が開催され、親子連れなどおよそ500人が来場。生徒たちは日頃の学びの特色を活かし、地域の人との交流を楽しみました。



高校生とコミュニティ協議会の協働イベント

11月20日、高校生まちスクで多世代交流をテーマに活動する生徒が、西方地区役員などの協力で地域の子どもに向けた竹馬づくりを実施。高校生は「みんなに楽しんでもらえて自分たちも良い経験になった」と話しました。

仕事帰りにちょっと一息!

「夕暮れカフェ」を開催します

仕事帰りにちょっと一息! 「夕暮れカフェ」を開催します! 菊川で活躍するユニークな人をゲストに迎え、楽しく交流しましょう。

今回は菊田千秋さんらを迎え、「ちょっと気になる乳がんのお話」をテーマにお話しいたします。菊川のお茶とお菓子を用意して、皆さんの参加をお待ちしています。

1月10日(火)

18:30~20:00

プラザきくる2階 市民協働センター

お気軽に
ご参加ください♪

対象

参加料

どなたでも

500円(お茶菓子代)

ゲスト

定員

菊田千秋さん、熊谷葉子さん 10名



申込み&問合せ 菊川市民協働センター

メール kikucen1@sage.ocn.ne.jp TEL・FAX 0537-35-2220

1月のイベント・講座スケジュール

詳しくはきくせん HP▷ イベントをご覧ください→
kikucen.net



12/29
木

1/3
火

市民協働センター 年末年始休暇

協働センターの
SNSはこちら



10
火

ひろまちコラボ ～ごみを拾い、まちを広げる～

7:30～8:00

きくる広場(プラザきく東側公園)

参加費：無料

主 きくがわ未来会議

問 0537-35-2220 (市民協働センター)

10
火

夕暮れカフェ

18:30～20:00

市民協働センター

参加費：500円(お茶菓子代)

主 市民協働センター

申 0537-35-2220

15
日

せんがまち棚田オーナー募集

15日～募集開始

菊川市上倉沢棚田

1区画：32,000円

主 NPO法人せんがまち棚田倶楽部

問 090-3251-1390(堀)

21
土

小笠高校 小さな収穫祭

9:00～無くなり次第終了 プラザきく

入場料：無料

主 小笠高等学校

問 0537-35-3181

21
土

多文化共生交流会「和の心を知る…年初めのお茶会」

14:00～16:00

プラザきく 1階和室

参加費：500円

主 つながる菊 Café プロジェクト

申 tunagarukikucafe@gmail.com

毎週
木・土

わくわく学習会

市民協働センター

【木】小学生(原則3年生以上) 16:30～18:30 【土】中学生 18:30～20:30

主 わくわく学習会

問 090-4188-9042(勝又)

3/31
金

中古メガネの寄付にご協力ください(回収期間～3月末まで)

回収ボックス場所 プラザけやき / 市民協働センター / 文化会館アエル / 菊川ライオンズクラブ

主 菊川ライオンズクラブ

問 0537-36-1162

菊川びとにインタビュー

浜松学院大学 落合奏楽さん



落合奏楽さんは中学生の頃に始めた菊川ジュニアビレッジをきっかけに、菊川の課題やまちづくりに興味を持ち始めました。地元の将来を楽しそうに話す大人に憧れ、浜松学院大学に進学し地域政策を学んでいます。実践的な活動としては、駅前商店街にある「ブンカ拠点みる」の副店長も務めています。みるは多世代の地域の人との交流ができる場です。菊川が大好きだと自負する奏楽さんは「菊川はモノ、コトだけではなくヒトが魅力のまち。自分自身も、地域の人が私に会いに来たいと思ってもらえるような人になりたい」と話してくれました。▶次回は高校生まちスクグループ三人官女(萩原・柳沢・依田さん)です。

レポート

わかものまちサミット



11月5、6日、「わかものまちサミット2022@京都」が開催され、全国から若者によるまちづくりに取り組む自治体関係者、若者当事者などが参加しました。全国的にこどもや若者の声をまちづくりに反映させていこうという動きが活発化しているなか、このサミットでは「若者の表現があふれるまちにはどんな仕組みがありますか」をテーマに参加者らで考えを深めていきました。菊川市市民協働センターは「若者と大人の良いパートナーシップのあり方は？」にてこれまでの事例を紹介。若者と関わりを持つ大人の振り舞いや支援のあり方などを交えながら話しました。次回は2023年11月、菊川市で開催されます。